

Fusyo Collaboration letter



5月26日 No.11 文責 廣田 秀俊

修学旅行プロジェクト 6-1 きっかけ集会

「成長ノートを用意しよう」担任の呼びかけにすぐに反応する児童。この時間のめあては“「真の力」について考えよう”です。考える際のキーワードは、『凡事徹底』。当たり前とはどんなことだろう？学校生活のあたり前を6年生が自分の言葉で黒板に埋めていきました。



【学習】

・考えの共有 ・価値語づくり ・問いを持つ ・出し合う ・自分から交流 ・思いを伝える
・深く学ぶ ・自分から HELP ・コミュニケーション力 ・書く力 ・正対 ・聴く ・反応 etc

【生活】

・あいさつする ・友達を大切にする ・時間を見て行動 ・高め合う ・仲を深める ・自己開示
・掃除を隅までする ・友を信じる ・感謝の気持ち ・自分から行動する ・整理整頓 etc

黒板には子供達の言葉が数え切れないほど並びました。黒板に書き込む姿は途切れませんでした。5回書いた子、黒板の言葉を成長ノートに書き写す子、この時間がただの一日のことではなく、記念日にできるほど集中した姿です。書き出した言葉は切りがないほどでした。



頭ではあたり前と思っている事柄、黒板に書いてはみたもののまだできていない事柄が、実はあるのではないかと子供達が追求していきます。担任から「自分で考えたことをグループで見合おう」と提案されると、見合うだけでなく意見交流を行いながら、その要因を話し合う姿が見られました。プラスαの行動です。次に、まだできていないこと、書いてはみたがまだうそに感じるものをあげてみました。
「あいさつはまだできていない。先生がいるところでしかできていないから」
「時間を見て行動は、自分からできるようにはなっていない」
「はきものそろえは、スリッパそろえが不十分。毎日そろえていくこと」等。



「これまではこのくらいでいいかという天井が存在していました。けれど成長には天井はじゃまな存在です。その天井を壊していくこうとする姿が成長です。」担任の言葉に力強く頷く6年生。まだあたり前でない、まだこれからできることを凡事徹底することを考えていきました。

- ① 今のままなら、凡事がうそだらけの6-1 それは…信用できないクラス 自己満足で終わっているクラス いつまでたっても成長しないクラス 存在0のクラスになってしまう。そうではなくて、成長することが必要。
- ② うそを本当に変えることができた6-1 それは…お手本にふさわしいクラス 成長につながるクラス 成長し続けるクラス 世界一さいこうのクラス あたりまえが多いクラス。みんなで成長していく。この1ヶ月の成長を自分で見つけていくこと、この1ヶ月で行う自分との約束を誓っていきました。修学旅行も実施される6月。1ヶ月後の姿が楽しみでなりません。